

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスライクス ステップ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 3月 3日		～ 2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所にある程度のスペースがあり、かつ備品の配置など工夫することで子供たちが活動(学習、運動)に取り組みやすい環境設定ができています。	その時々の子どもの状況等も踏まえて、備品の配置などの検討を行っている。今年度は読書に取り組むタイミングを作れるように本棚の設置も行い、漫画や図鑑などから読書に取り組む子どもも増えている。	随時検討を行い、子どもの状況に合わせた備品の整備、スペースの有効活用など進めていく。
2	保護者・指導員ともに個別支援計画の内容を十分確認できていること、計画に沿った支援が行えていること。	モニタリングの時間を十分に確保し、保護者の理解を得たうえで支援ができています。日々の様子を送迎の際に共有することなども意識的に行っている。	指導員間での共有も随時行っているが、常勤・非常勤で共有のタイミングがずれることがあるので、意識して共有を進めていく。
3	児童のアセスメントを適宜行い、学習支援など根拠を持って支援ができています。	児童ごとのライクスプリントを選ぶ際や、みんなの運動の内容を決める時など、事業所で行っている評価等から根拠を持って行うようにしている。今年度はみんなの運動の中でちょいトレとして体幹機能等に焦点を当てたプログラムを設定し、取り組みを進めた。	評価に関しては専門職が行っているが、指導員との情報共有をさらに積極的に行い、よりよい支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が参加できるペアレントトレーニングなどのイベントがないこと。	保護者参加型のイベントや交流の場を設定できていない。	保護者同士が交流できる場やペアレントトレーニングのニーズを確認し、検討を進めていく。
2	SNS等による日常の様子発信が十分に行えていないこと	日常の様子を発信するためのSNS等がない。	SNSの運用方法(頻度、媒体等)の検討をしたうえで取り組みを進めていく。
3	非常時(災害等)の訓練を行っていることが保護者に周知できていない。	周知するツール(現状は連絡帳)が十分に運用できていない。	先の項目にもあげたSNSの運用とあわせて検討を進めていく。